



中域ディスクドッジ
首都圏西部大会 2016

WEST Metropolitan DISCDODGE Tournament 2016

<大会報告書>

2016年12月20日



日本ドッジビー協会

【大会概要】

- 名 称 中域ディスクドッジ首都圏西部大会 2016
 WEST Metropolitan DISCDODGE Tournament 2016
- 日 時 2016年(平成28年)12月10日(土曜日)9:00～18:00
- 場 所 川崎市高津スポーツセンター
 〒213-0002 川崎市高津区二子 3-15-1
- 主 催 一般社団法人日本ドッジビー協会
- 共 催 川崎市高津スポーツセンター
- 後 援 川崎市 / 公益社団法人全国子ども会連合会
- 協 力 NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF
 高津区スポーツ推進委員会 / 宮前区スポーツ推進委員会
- 協 賛 文化シャッター株式会社
 東京キリンビバレッジサービス株式会社 ワタミ株式会社
- 表 彰 各部門 1位から3位まで

【お問い合わせ先】

日本ドッジビー協会事務局

住所 ： 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

Tel ： 03-3264-3626

Fax ： 03-3264-3627

mail ： support@dbja.jp

担当 ： 稲垣 敬雄

【参加チーム一覧】

人数

<小学生部門>

① ファイヤースター	調布市立第三小学校(4年)	13
② 柏野アクセルアローズ	調布市立柏野小学校 その他(2~6年)	17
③ サンダース	荒川区立第三日暮里小学校(5年)	12
④ チャンピオンDS-J	那須塩原市 学校混成(2~6年)	14
⑤ 高津ドリームス	川崎市高津区女子野球チーム(2~6年)	9
⑥ 久本ブルーエンジェルス A	川崎市高津区 野球チーム(1~3年)	7
⑦ 久本ブルーエンジェルス B	川崎市高津区 野球チーム(3/4年)	10
⑧ 二代目 稗原将軍	川崎市立稗原小学校(6年)	15
⑨ SS向丘	川崎市立向丘小学校(4~6年)	22
⑩ 犬蔵∞(むげんだい)	川崎市立犬蔵小学校(5年)	14
⑪ 犬蔵ウォーリアーズ	川崎市立犬蔵小学校(6年)	14
⑫ 犬蔵ソウル	川崎市立犬蔵小学校(5/6年)	15

<一般部門>

⑬ NDCベックマン	足立区 クラブチーム	11
⑭ 東京選抜チーム	調布市 中学生+社会人 合同チーム	12
⑮ チャンピオンDS-A	那須塩原市フライングディスク協会チーム	7
⑯ 十八兔(じゅうはちつと)	川崎高津区+品川区社会人 合同チーム	13
⑰ ねぎちる	企業 クラブチーム	8

●大会関係者総数： 40名

内訳 /主要スタッフ 10名

/協力スタッフ 25名

/来賓その他 5名

●参加選手総数 213名

◆大会関与者総合計 253名

◆観戦・引率保護者数 約200名

大会関係者総合計 約450名

【最終順位】

	小学生部門	一般部門
優勝	犬蔵ウォーリアーズ	東京選抜チーム
準優勝	二代目稗原将軍	NDC ベックマン
3位	犬蔵∞	ねぎちる

【大会ルール】

・日本ドッチビー協会公式ルールで実施。一部大会ルールを採用。

- 1) 試合の人数は小学生部門＝13名、一般部門＝10名
- 2) 試合時間はすべて前／後半 各＝3分30秒
- 3) 同点の場合＝リーグ戦は引分け、トーナメント戦はPT戦で決着
- 4) 決勝戦のみ終了時、同点の場合＝3分1本通しの延長戦をおこなう

【競技方法】

1) 小学年部門

- 予選 3チーム×4リーグにて予選リーグ戦。(引分けあり)
順位決定 予選リーグの順位1～2位の8チームならびに
3～4位の各4チームによる順位決定トーナメント戦をおこなう。

2) 一般部門

- 予選 5チーム×1リーグにて予選リーグ戦。(引分けあり)
順位決定 予選リーグの順位1～2位による決勝戦
ならびに3～5位の3チームによる順位決定リーグ戦

【競技スケジュール】

全ての対戦結果を含め、別紙をご参照ください。

【参加賞】

協賛社様ご提供の参加賞

※配布～②は受付時、①③④は16時以降

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 文化シャッター(株) | ネックストラップ |
| ② 東京麒麟ビバレッジサービス(株) | 555mlスポーツドリンク |
| ③ ワタミ(株) | 系列全店使用可能 500円お食事券 |
| ④ 日本ドッチビー協会(主催) | ドッチビーデザイン・ステッカー |

【講 評】

平成28年12月10日、土曜日、17チーム、約200名の選手、スタッフその他関係者ならびに観戦保護者など、合計約450名が集い、約3年半ぶり、通算5回目となる中域ディスクドッジ大会が首都圏西部大会の名称で開催されました。



当日は朝から快晴、厳しい冷え込みもない好天、会場として使用させていただいた高津スポーツセンターは交通至便 最寄り駅から徒歩10分以内、建物は大変キレイで設備がコンパクトにまとまっており、運営上、大変使い勝手の良い会場でした。



そのような施設だけに人気も高く予約段階では関係各位のご協力を頂戴して共催者となっただき、なんとか確保したものの変則的な会場使用となりました。

午前中は小体育室のみの使用となったため、参加者受付と開会式までをおこない、午後からは選手の練習スペースとして使用。正午過ぎからは大体育室全面を使用して2面で試合をおこなう、といった初体験の運営となりました。



DBJA主催行事としては神奈川県内で初となる本大会はこの秋におこなったルール改定後、実質的に初の開催となる公式大会でもあるために審判スタッフには早めの集合をお願いして、

選手受付前の時間にルール確認の模擬試合を小体育室で、おこないました。

いろいろな意味で初づくしの大会となり、普段はない緊張感をもって望んだ大会でした。



受付時間の11時には続々と選手が集合。受付で参加賞としてキリンのスポーツドリンクが一人1本配布され、大会は開始されました。



小体育室での開会式では共催の高津スポーツセンター館長の菊地正様に歓迎のご挨拶をいただき、本大会への最初の申込みを受付けたチーム、



ファイヤースター／調布市より代表選手を出していただいたの選手宣誓の後、協会より諸注意事項を説明して予定通り、終了となりました。



小体育室での開会式から試合会場となる大体育室への移動において試合の準備が間に合うのか、不安がありました。結果的に大きな混乱はなく、当初心配していた試合開始時間の遅延もなく順調に転換でき、その後の試合進行については想定時間よりも、かなり早めに進行することができました。この大きな要因は今回、招集係をしっかりと配置したこと、ならびに招集および本部進行管理をお願いした運営協力スタッフのチカラが大きかったと感じました。



試合内容については予選段階こそ大差のゲーム結果もちらほらと見受けられましたが、後半のトーナメント戦に入ると白熱した僅差のゲームが増え、同点PT戦となるゲームも複数あり、見応えのあるゲームが続出！！また、観戦の保護者からも「楽しめた！」との感想を聞くことができ、嬉しく思います。



協会の指導審判資格を有する方から今回選抜させていただいた主／副審の皆さん、さらに線審／記録スタッフとして地元高津区および宮前区のスポーツ推進委員の皆さん、と多くの方々にご協力をいただけたことからゲームフィールドの運営は特に大きな問題なく、進行できたことは大変ありがたく感じています。



全体運営上の反省として大体育室2Fにチーム控スペースを設定しましたが、その入場もPMより、という点において十分なインフォメーションが必要であったと思います。良かった点として練習スペースは充実した質と量にできたことが挙げられると思います。

16時過ぎより開始したスポンサー企業各社様よりご提供いただいた参加賞の配布を終えるころには、いよいよ各部門の3位決定および決勝戦がおこなわれ、小学生部門は上位入賞を地元、川崎市宮前区のチームが独占！！一般部門は社会人チームに中学生中心のチームが勝利！！するなど、話題に事欠かない結果となりました。表彰式での笑顔はとても印象に残りました。



最後に、本大会を大きな事故なく終わることができましたことを関係各位に御礼申し上げます。ありがとうございました。また今回の開催地である川崎市において、ドッチビーの安全性や汎用性、競技としての面白さなどの認知向上、ならびに今後の普及促進が進むことを祈念して報告とさせていただきます。